

## 当事者(こども)の視点から、 一時保護所のレガシーとあり方について考える

一時保護所で生活する・生活していたこどもたち約2,000人から頂いた「声」※をもとに、一時保護所はこどもから見てどういうところなのか、どういう場所であるべきか…、一時保護所で過去から引き継がれてきたルールや規則(レガシー)や今後のあり方について、一緒に考えてみませんか。



※令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業  
「一時保護所の設備・運営基準策定のための調査研究」にて実施したアンケート調査

令和5年

11月24日(金) 18:30~20:30

会場 ピアザ淡海 204会議室

対象 一時保護所職員の皆さま  
一時保護所専用施設職員の皆さま  
児童相談所職員の皆さま

参加費無料  
先着45名

企画 「一時保護所の設備・運営基準策定のための調査研究」検討委員会有志

川松 亮 (明星大学人文学部)  
茂木 健司 (江戸川区児童相談所一時保護所)  
藤林 武史 (西日本こども研修センターあかし)  
八木 涼子 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

お申込み

下記URLまたはQRコードから、  
11月17日(金)までにお申込みください。

[https://questant.jp/q/shiga\\_precon](https://questant.jp/q/shiga_precon)



問合せ先: [r.yagi@murc.jp](mailto:r.yagi@murc.jp) (担当 八木)